平成14年《2002年》5月30日から施行

# 建設リサイクル法に関する届出の手引き

八尾市建築部審査指導課

# 目 次

目次 .	——————————————————————————————————————
1. はじめに	——————————————————————————————————————
2. 届出が必要な規模、工種について	P 2
3. 発注から実施のながれ	——————————————————————————————————————
4. 対象建設工事の届出について	———— P 5
5. 届出書等の記入について	———— P 7
6. 受注者の注意点	——————————————————————————————————————
<ul> <li>※記入例</li> <li>・届出書</li> <li>・別表1~3</li> <li>・委任状</li> <li>・工程表</li> <li>・説明書</li> <li>・法第13条及び省令第4条に基づく書面</li> <li>・告知書</li> <li>・再資源化等報告書</li> </ul>	P12 P13~P15 P16 P17 P18 P19~P20 P21 P22
<ul> <li>※各様式(白紙)</li> <li>・届出書</li> <li>・別表1~3</li> <li>・変更届出書</li> <li>・別表1~3 (変更)</li> <li>・委任状</li> <li>・工程表</li> <li>・説明書</li> <li>・注第13条及び省令第4条に基づく書面</li> <li>・告知書</li> <li>・再資源化等報告書</li> </ul>	P23 P24~P26 P27 P28~P30 P31 P32 P33 P34~P37 P38 P39

#### 1. はじめに

平成12年5月31日に公布された建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「法」という。)が、平成14年5月30日より完全施行されます。八尾市域において、一定規模以上の解体工事、新築工事及び増築工事、一定金額以上の修繕、模様替及び土木工事等を施工する際には、その工事の発注者は、八尾市長に対して分別解体工事等の届出をする必要があります。

この手引き書は、八尾市域において行われる解体工事等に際し、その行為の届出等について 活用していただくために作成したものです。

#### 2. 届出が必要な規模、工種について

- 〇分別解体等及び再資源化等が必要となる特定建設資材
  - ① コンクリート
  - ② コンクリート及び鉄から成る建設資材
  - ③ 木材
  - ④ アスファルト・コンクリート
- 〇上記の特定建設資材を用いた(使用する)下表に掲げる工事については、発注者 (建築主)は工事着手の7日前までに届出書の提出が必要となります。

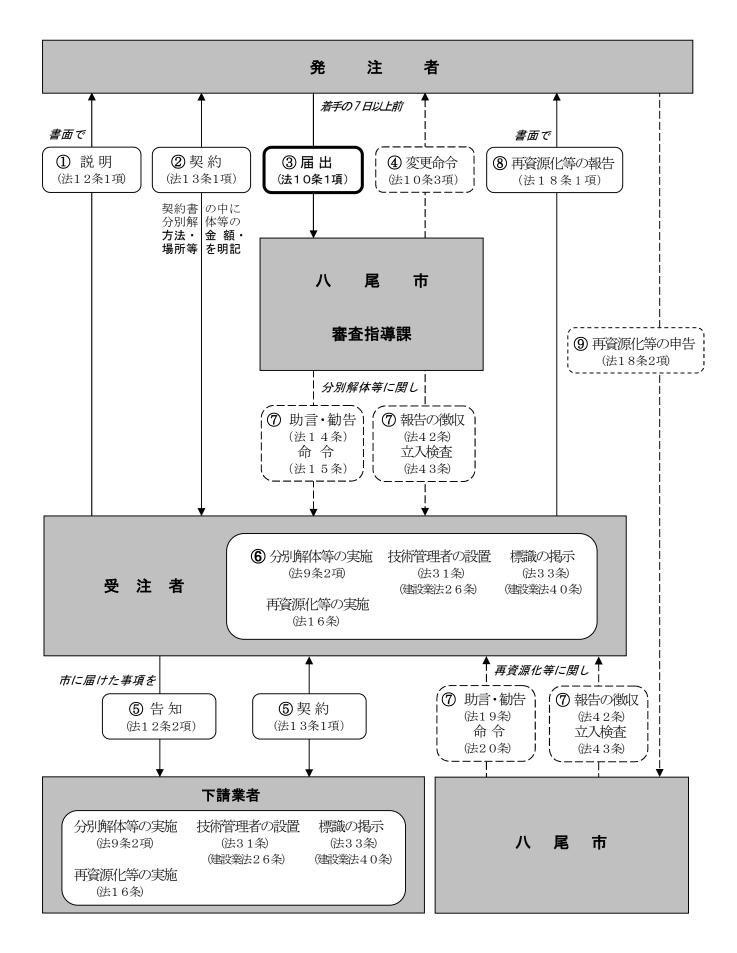
工事の種類	規模	提出先	
建築物の解体	床面積の合計	80㎡以上	
建築物の新築・増築	床面積の合計	500㎡以上	
建築物の修繕・模様替(リフォーム等)	請負代金の額	1億円以上	審査指導課
その他の工作物に関する工事 (土木工事等)	請負代金の額	500万円以上	

#### 建築物-建築基準法第2条第1項第1号で規定するもの

土地に定着する工作物のうち、屋根及び柱若しくは壁を有するもの、これに附属する門若しくは塀、観覧のための工作物又は地下若しくは高架の工作物内に設ける事務所、店舗、興行場、倉庫その他これらに類する施設(鉄道及び軌道の線路敷地内の運転保安に関する施設並びに跨線橋、プラットホームの上家、貯蔵槽その他これらに類する施設を除く。)をいい、建築設備を含むものとする。

- 工作物-道路・橋・トンネルなどのように土地に定着する工作物で建築物以外のもの
  - 例) ◇土木工作物
    - ◇木材の加工又は取り付けによる工作物
    - ◇石材(石材に類似のコンクリートブロック及び擬石を含む)の加工又は積方 による工作物
    - ◇れんが、コンクリートブロック等による工作物
    - ◇形鋼、鋼板等の鋼材の加工又は組立てによる工作物
    - ◇機械器具の組立て等による工作物

#### 3. 発注から実施のながれ



### ○前ページのフロー図に対応しています

番号	事項	内容	参考 (記載例)	参考 (各種書式)
1	説明	元請業者から発注者への説明 (建築物等の構造、工事着手時期、分別解体等 の計画等)	P 1 8	P 3 3
2	契約	契約書面への解体工事等の明記 (分別解体等の方法、解体工事に要する費用、 再資源化等をするための施設の名称及び所在 地、再資源化等に要する費用)	P 1 9 ~ P 2 0	P 3 4 ~ P 3 7
3	届出書提出	発注者は市へ工事着手の7日前までに届出書 を提出	P 1 2 ~ P 1 7	P 2 3 ~ P 3 2
4	変更命令	市の受付から7日以内に、必要な措置を命令		
5	告知及び契約	元請業者から下請業者に対して、契約前に届出 事項等を告知	P 2 1	P 3 8
6	工事実施	分別解体工事、再資源化の実施 ・主任技術者及び技術管理者による施工管理 ・現場における標識の掲示		
7	助言・勧告等	分別解体工事、再資源化の実施に関して必要な助言、勧告、命令、立入検査、報告の徴収		
8	再資源化等の報告	元請業者から発注者への完了報告	P 2 2	РЗ9
9	再資源化等の申告	発注者から知事に対して再資源化等の申告		

注) ⑤は①と②と同時期でも差し支えありません。

#### 4. 対象建設工事の届出について

#### 第1 届出の窓口

- 1 届出書及び変更届出書(以下「届出書等」という。)の提出先窓口は、建築工事等関係、 土木工事等関係とも審査指導課です。
- 2 複数の行政庁の区域にまたがる場合の届出の窓口

当該対象建設工事の施工範囲が複数の行政庁(大阪府、奈良県、大阪市、東大阪市)の 区域にまたがる場合は、その区域を含む複数の届出書受付行政庁のすべてに対し、届出及 び変更届出をして下さい。

#### 第2 届出書等の受付

1 届出日

届出は、工事に着手する日の7日前までに行って下さい。(この7日間には、土曜、日曜、 祝日・休日、年末年始を含む。)

例)9月1日に着工予定であれば、8月25日以前に届け出て下さい。

- .. 8/24 8/25 8/26 8/27 8/28 8/29 8/30 8/31 9/1 ...
- . 8日前 7日前 6日前 5日前 4日前 3日前 2日前 1日前 当日.. **一届出日 着手日**

#### 2 提出部数

届出書等の提出部数は、1部とします。

3 受付時間

法第10条の届出書等の受付は、開庁日の開庁時間において行います。

4 届出の完了時点

届出書の受理が完了した時点とします。

5 工事中に対象建設工事となった場合

当初、対象建設工事でなかった工事が、工事変更等により対象建設工事となった場合には、速やかに届出を行って下さい。

#### 第3 提出書類

- 1 届出書 (別記様式第一号)
- 2 別表 (分別解体等の計画等)
  - ◇以下の別表1~3のうち、工事の種類により該当するものを添付してください。
    - ① 建築物に係る解体工事については別表1
    - ② 建築物に係る新築工事等については別表 2
    - ③ 十木工事等については別表3
- **3 <u>委任状</u>** ※様式第一号への押印は不要ですが、委任状については**押印が必要**となります。 ◇届出を次に掲げる代理者が行う場合は、委任状を提出して下さい。
  - ① 建築士(業務として行う場合)
  - ② 行政書士 (業務として行う場合)
  - ③ 前各号に掲げる場合の他、業務として行う場合を除き、本人の意思表示により代理権を付与された代理人

#### ◇法人の職員が代理を行う場合

委任状の提出又は社員であることの身分を証する書類を提示して下さい。

代理者=届出書等・添付書類の提出、内容の変更・訂正、取下げができます。 代行者=委任状の提出は不要

届出書等・添付書類の提出時に内容の変更・訂正はできません。

#### 4 付近見取り図

住宅地図又は白地図に該当対象工事等を施工する場所を朱色等で着色して明示したものとし、サイズはA4とします。

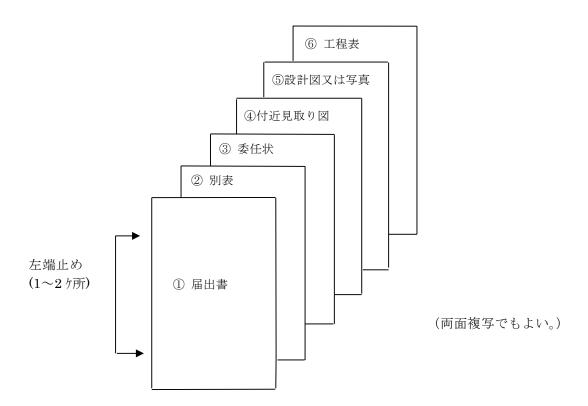
#### 5 設計図又は写真

- ① 設計図の場合は、立面図又は平面図を1面以上添付し、サイズは原則としてA4としますが、A4以外のサイズの場合はA4の大きさに折りたたんで下さい。
- ② 写真の場合は外観写真を1面以上A4サイズの台紙に貼付し、サイズはサービスサイズ、キャビネ版、パノラマ版等とし、かつ、カラー写真とします。

#### 6 工程の概要(工程表)

1の届出書の記載欄に記載できないときに添付して下さい。(別紙参考様式参照)

#### 第4 届出書等の綴り方



#### 5. 届出書等の記入について

#### 1 届出書等記載の基本的事項

届出書等は日本語で記入して下さい。また、記入方法は、手書きの場合は万年筆、ボールペン等により記載して下さい。なお、プリントアウトしたものであっても結構です。

#### 2 届出書

① 年月日

年月日を記入して下さい。日は届出の当日です。

② 届出書のあて先

届出書のあて先を「八尾市長」と記入して下さい。

- ③ 発注者又は自主施工者の氏名・住所
  - ア. 発注者又は自主施工者の氏名の欄には、個人の場合は氏名、法人の場合は商号又は名称 及び代表者の氏名を記入すること。また、カタカナでフリガナを付けて下さい。
  - イ. 住所の欄には、個人の場合は本人の住所、法人の場合は主たる営業所(本社、本店など) の所在地を記入して下さい。
  - ウ. 郵便番号の欄には、個人の場合は本人の住所の郵便番号、法人の場合は主たる営業所(本 社、本店など)の所在地の郵便番号を記入して下さい。
  - エ. 電話番号の欄には、個人の場合は本人の所有する電話の番号、法人の場合は主たる営業所 (本社、本店など)に置かれている電話の番号を記入して下さい。
  - **注 1** 法人の場合で、登記上と事実上の所在地が異なる場合は、事実上の所在地の郵便番号、 住所等を記入して下さい。
  - **注2** 工事中に転居する場合は、転居先の住所・連絡先その他の項目を併記して下さい。

#### ④ 工事の概要の欄

- ア. 工事の名称を記入して下さい。(○○マンション解体撤去工事、○邸新築工事、ガス管設置工事等)
- イ. 工事の場所には、市名、町名、大字・字名、丁目、地番、筆を記入して下さい。 ただし、番地、筆は、すべてでなく工事場所を代表するもので結構です。又、当該対象建設 工事が複数の行政庁(大阪府、奈良県、大阪市、東大阪市)の区域にまたがる場合は、複数 のすべての工事場所を記入して下さい。
- ウ. 工事の種類は、該当する工事のチェックボックスにチェックマークを付けて下さい。
- エ. 工事の規模は、該当する工事の記入欄に、用途、階数、工事対象床面積又は請負代金の額(千円単位を四捨五入し万円単位としたもの)を記入して下さい。請負代金の額は消費税及び地方消費税の額を含みます。
- オ. 請負・自主施工の別は、該当するどちらかの方法のチェックボックスにチェックマーク を付けて下さい。

#### ⑤ 元請業者の欄 (請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

- ア. 元請業者の欄には、個人の場合は氏名、法人の場合は商号又は名称及び代表者の氏名を 記入して下さい。(契約の権限が支社長などに委任されている場合は支社長でも良い)。 また、カタカナでフリガナを付けて下さい。
- イ. 住所の欄には、個人の場合は本人の住所、法人の場合は主たる営業所(本社、本店など)

の所在地を記入して下さい。

なお、現場事務所が設置される場合は、現場事務所の住所を併記して下さい。

ウ. 郵便番号の欄には、個人の場合は本人の住所の郵便番号、法人の場合は主たる営業所(本 社、本店など)の所在地の郵便番号を記入して下さい。

なお、現場事務所が設置される場合は、現場事務所の住所の郵便番号を併記して下さい。

エ. 電話番号の欄には、個人の場合は本人の所有する電話の番号、法人の場合は主たる営業 所(本社、本店など)に置かれている電話の番号を記入して下さい。

なお、現場事務所が設置される場合は、現場事務所に置かれている電話の番号を併記して下さい。

オ. 許可番号(登録番号)は、建設業又は解体工事業のいずれか該当する方の必要事項を 記入して下さい。

建設業の場合は、大臣又は知事のいずれかのチェックボックスへチェックマークを付け、 建設業許可番号、主任技術者(監理技術者)の氏名及び**業種**(土木工事業、建築工事業、 解体工事業等の別)を記入して下さい。

解体工事業の場合は、当該解体業者の登録をした知事名の、解体工事業の登録番号、 技術管理者氏名を記入して下さい。

なお、主任技術者(監理技術者)又は技術管理者が外国人の場合は、カタカナでフリガナを付けて下さい。

#### ⑥ 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日の欄

元請業者から説明を受けた当日の年月日を記入して下さい。(受注者から見れば説明を行った日) ただし、請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要です。

#### ⑦ 工程の概要

様式第一号の本欄に記載されているとおり、出来るだけ図面、表等を作成して下さい。 この場合、対象建設工事の着手年月日、完了年月日(分別解体等が完了する日)及び工種、 工種ごとの施工順序、工種ごとの施工日数、全体工事日数等を記載して下さい。

届出書中にスペースの関係などから記載できない場合は、別紙によるものとし、別紙に 工程の概要を記入して下さい。(別紙様式参照)

#### 3 別表

#### ① 周辺状況

工事現場の周囲の状況について具体的に記入して下さい。

- 例)・水田、農道(幅員3m)あり、交通量少ない
  - ・市街地、前面道路(片側2車線、幅員約22m)交通量多い など

#### ② 作業場所の状況

工作機械の設置場所及び分別作業を行うための作業場所等の状況について記入して下さい。 例)・100 m<sup>2</sup>確保可能なため、支障なし

・工作機械の設置場所はあるが、分別解体スペースなし など

#### ③ 搬出経路の状況

廃棄物の発生する現場から、搬出を行う道路までの搬出経路の状況について記入して下さい。 段差、樹木、工作物などの障害物の有無、経路における舗装の有無、砂利敷き等の状況、 搬出に利用する道路までの距離や道路の幅員、通学路該当の有無、交通規制の状況などを 記入して下さい。

- 例)・搬出経路に立木あり、未舗装、道路まで約10m
  - ・およそ 50cm の段差あり、舗装なし、道路(幅員 2 m) まで 5 m
  - ・前面道路幅員 10m など

#### 4 その他

解体時に有害物質の発生がある場合、種類、発生箇所等について記入して下さい。

例)・変電施設、PCB使用トランス など

#### ⑤ 作業場所の確保

「建築物に関する調査の結果の作業場所の状況」で作業場所が十分に確保できない旨の記入をした時は、具体的な対策を記入して下さい。

- 例)・立木の除去を行う
  - ・着手と同時に構造物の一部を除去し、作業場所を確保する
  - ・敷地が狭いので道路を一時的な機械設置場所として使用するため道路使用許可を 得るなど

#### ⑥ 搬出経路の確保

「建築物に関する調査の結果の搬出経路の状況」で問題がある旨の記入をした時は、具体的な対策を記入して下さい。また、問題なく搬出が可能な場合は「支障なし」と記入して下さい。

- 例)・搬出用車両を入れるため鉄板を敷地内に敷設
  - ・搬出用道路が狭いため道路使用許可を得て通行止めを行い搬出する
  - ・鉄板敷きを施工し搬出経路を確保する など

#### ⑦ その他

近隣対策や必要な諸官庁への届出の実施状況などについて記入して下さい。

また、「建築物に関する調査の結果の付着物の有無欄、またはその他欄」で、付着物や有害物質について記入した時は、その対処について記入して下さい。

- 例)・自治会との協議済み
  - 周辺住民への周知
  - ・吹き付け石綿の適性処理対策の実施
  - ・PCB使用機器の適性処理 など

#### 4 変更届出

#### ① 変更届出書の様式

変更届出は、別記様式第二号による変更届出書を使用して下さい。

- ア. 様式左欄の変更箇所にチェックをして下さい。
- イ. 添付図書についても変更箇所を明示して下さい。
- ウ. その他、変更前届出書記入の仕方と同じです。

※様式第二号への押印は不要ですが、委任状については押印が必要となります。

#### 届出が不要な場合の分別解体の実施義務

分別解体等の実施義務や分別解体等の実施基準は当然適用されることから、必要に応じて随時 分別解体等の計画を変更しながら適正な分別解体等を実施すべきであることに変わりはないこと に留意して下さい。

#### 6. 受注者の注意点

#### 1 受注者から発注者への説明(法第12条第1項)

法第12条第1項の規定による対象建設工事の届出に係る事項の説明については、受注者から発注者に対して法第10条第1項の規定による事項を記載した書面を交付して説明を行って下さい。(別紙様式参照)

#### 2 元請業者の下請業者への告知 (法第12条第2項)

元請業者は、法第10条第1項の規定により届け出られた事項(法第10条第2項の規定による変更の届出があった場合にはその変更後のもの)について下請業者へ告知しなければなりません。(別紙様式参照)

#### 3 対象建設工事の請負契約に係る書面の記載事項(法第13条)

法第13条の対象建設工事の請負契約において受注者及び発注者は、主務省令第4条で定める事項を 書面に記載し、署名又は記名押印をして相互に交付しなければなりません。(別紙様式参照)

#### 4 再資源化等の発注者への報告 (法第18条第1項)

対象工事の元請業者は、当該工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した時は、主務省令に定めるところにより、その旨を当該工事の発注者に報告するとともに、当該再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、これを保存しなければなりません。(別紙様式参照)

#### 5 分別解体等に関する技術基準

分別解体等に関する技術基準は、法第9条第2項に規定する主務省令(施行規則第2条分別解体に係る施行方法に関する基準)で定める基準のほか、次の点に留意して分別解体を実施して下さい。

- ① 作業スペースの確保
  - 建築物等の解体工事を実施する場合において、敷地内での分別が困難な場合には、別に分別の ためのスペースを確保し、分別を行って下さい。
- ② 再資源化ができない木材の分別 化粧合板、フローリング材などの複合材は再資源化ができないことから、その他の廃木材とは 分別して下さい。
- ③ その他の分別解体の方法については法第9条第2項に規定する主務省令で定める基準に従い行って下さい。

#### 6 分別解体等における有害物質等に関する事項

分別解体等における有害物質等に関しては、大阪府建設リサイクル法実施指針に定める事項の他、 次の各号の事項に留意して下さい。

- ① 冷凍空調機器の冷媒として使用されているフロン類に関して、特定家庭用機器再商品化法(平成 10 年法律第 97 号)に規定する特定家庭用機器に該当するユニット型エアコンディショナー及び電気冷蔵庫の中に含まれるものについては、特定家庭用機器再商品化法又は廃棄物処理法に従って処理されなければなりません。
- ② 非飛散性アスベストについては、解体工事の施工及び非飛散性アスベストの処理において、 粉じん飛散を起こさないような措置を講じなければなりません。
- ③ その他の有害物質については、解体工事における判別、分離等の技術基準に応じた適切な措置が 講じられなければなりません。

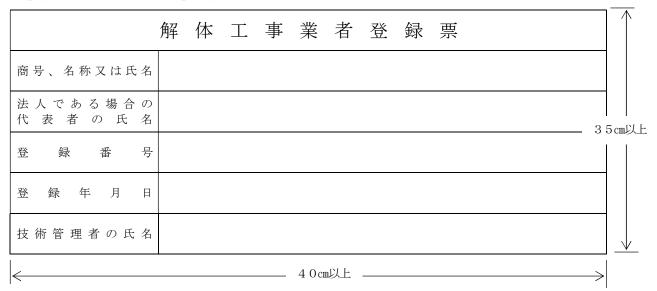
#### 7 標識の掲示(法第33条)(建設業法第40条)

解体工事業者は、主務省令に定めるところにより、その営業所及び解体工事の現場ごとに、公衆の 見やすい場所に主務省令に定める事項を記載した標識を掲げなければなりません。

建設業者は、主務省令に定めるところにより、その店舗及び建設工事の現場ごとに、公衆の見やすい場所に主務省令に定める事項を記載した標識を掲げなければなりません。

※解体工事の現場には、以下の標識のいずれかを掲示する必要があります。

【解体工事登録業者の場合】(解体工事業に係る登録等に関する省令第8条)



#### 【建設業許可業者の場合】(建設業法施行規則第25条)

				趸	ŧ	設	業	0)	許	可	票					$\overline{}$	_
商	号	又	は	名	称												
代	表	者	D	氏	名												
主任	支術者	の氏名	専 任	のす	有 無												
	資	格名	資格者	証交付	播号										4 (	لِ cm ا	以上
一般	建設	業又は	特定建	設業	の別												
許「	可を	受(	ナ た	建設	党 業												
許		可	番		号	国士	上交通大臣 知事	ŧ	午可(	)第	Ť	<del>-</del> 7	子				
許	可	4	丰	月	目												<u>/</u>
<del></del>								4 O cm	以上 _						$\longrightarrow$		

記載例

届出書



O年 O月 O日 八尾市長 (あて先) カワチ オンコ フリガナ 発注者又は自主施工者の氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名) 河内 音子 (郵便番号 **581-××××** )電話番号 **072**-〇〇〇-△△△△ 住所 八尾市〇〇町△丁目××番 (転居予定先) (郵便番号 **581-××××** )電話番号 **072**-○○-□□□□ 住所 **八尾市●●町△丁目××番** 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。 記 1. 工事の概要 ①工事の名称\_\_\_ 河内様邸解体工事 ②工事の場所 **八尾市〇〇町△丁目××番** ③工事の種類及び規模 ☑建築物に係る解体工事 用途 **一戸建ての住宅**、階数 **2**、工事対象床面積の合計 **80** m2 □建築物に係る新築又は増築の工事 用途 \_\_\_\_、階数 \_\_\_、工事対象床面積の合計 \_\_\_\_\_ m2 □建築物に係る新築工事等であって新築又は増築の工事に該当しないもの 用途 、階数 、請負代金 万円◀ 消費税及び 地方消費税の額を含む □建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金 万円 ④請負・自主施工の別: ☑請負 □自主施工 2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要) ①氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名)\_ (株)○×解体 (郵便番号 ○○○-●●●● )電話番号 **072**-○○○-×××× ②住所**/尾市○○町△△丁目▼▼** 現場事務所が設置される場合は併記 ③許可番号(登録番号) □建設業の場合 建設業許可\_\_\_\_ □大臣□知事( - ) 自主施工の場合 主任技術者(監理技術者)氏名\_\_ 記入不要 ☑解体工事業の場合 業種を記入 解体工事業登録<u>大阪府</u>知事<u>○△□×</u>号 (とび・土工工事業での解体不可) 技術管理者氏名 解体 志多代 3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日 (請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要) **×**年 ○月 △日 4. 分別解体等の計画等 建築物に係る解体工事については別表1 建築物に係る新築工事等については別表2 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3 届出日の7日以上後であること により記載すること。 5. 工程の概要 ×年 △月 ▲日

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。) (注意)

- 1 □欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。
- 2 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

別紙の通り

(工事着手予定日)

\_(工事完了予定日)

**×**年 △月 ▲日

記載例

	(A4
建築物に係る解体工	事

	建築	物の構造			<ul><li>」鉄骨鉄筋コンクリートi</li><li>□コンクリートブロック</li></ul>			ート造		)					
建:	築物に関	建築物の状	犬況		<b>30</b> 年、棟数 <u>1</u> 棟			)							
	る調査の 結果	周辺状況		敷地境界	る施設 ☑住宅 □商業 との最短距離 約 <u></u>		☑学校 [	□病院	口その	他(		)			
<u> </u>				その他(	が出てまれてまれる外の	3		) *エギロ	- ##-	- 7 +H-5	男の中	rist.			
		作業場所		+	<ul><li>極い関する調査の結果</li><li>■十分 □不十分</li></ul>	₹		着手前に 							
					隣地の使用必要 )		隣地保	用の承	若洛、道 ———	<b>直路使</b>	用許可	J洛			
		搬出経路		通学路 [	□有( ) <b>②</b> 無 の幅員 約 <b>4</b> m ☑有 □無 <b>大型交通不可</b> )		交通整理	2員を配	置、21	<b>〜ント</b> ラ	ラックで	搬出			
	残存物品 プロン □有(業務				用エアコン・冷凍冷蔵機器の ン類が使われているもの)	うち									
			その他	☑無 ☑有( <b>エ</b>	77.										
建	築物に関		CANIE		.r-1/ )		-	L事施工	までに	搬出	する				
す	る調査の	特定建設	口有	(□飛散性石	「綿(吹付け石綿、石綿含有	断	大気汚染防 大阪府生活				SDz# 3	£ /			
	果及び工 着手前に	資材への 付着物		□非飛散性	熱材、保温材等) 石綿		大阪村生活		正寺(に関)	りる余19	刊に基づ	1<			
	有子別に 施する措				有仕上塗材 使用面積 m²	•	□届出済	□届出予	定 □ Γ	虽出対象	孙				
置	畳の内容			□石綿含ね□その他(	有成型板等 <u>使用面積 ㎡</u>	) )									
			☑無												
		その他 (特定建設資	☑有	(□飛散性石	「綿(吹付け石綿、石綿含有 熱材、保温材等)	断	大気汚染防.				別に其べ	\$ <i>/</i>			
		材に付着して	1	☑非飛散性			届出につい		E 寸 (C)大)	) DXI	-11(CAS >				
		いない、解体 時に発生す			有仕上塗材 使用面積 <b>600</b> n		□届出済 〔	□届出予第	定 🗹 届	出対象	外				
		る有害物質)		□ 4 # E 1   □ そ の 他 (	有成型板等 <u>使用面積    m</u> °	) )	松林士	作業併用	Bの担ぐ	· III r	- お記:	<b>±t</b> :			
			口無				(例)	屋根の腐	関敗によ	:り、≒					
		フロン	□有		プコン・冷凍冷蔵機器のうちフ ぃているもの)	ロン		危険であ	うるため	。等					
			☑無		,							$\mathcal{A}$			
エ	<b>○</b> 74. ₩=11	工程			作業内		分別解体等の方法 // ★1								
程ごとの	①建築設	備•内装材管	等		建築設備·内装材等の ☑有 □無	り取り外	外し M 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由( )								
作業	②屋根ふ	き材			屋根ふき材の取り外し			✓ 手付							
内					☑有 □無				作業・機材 場合の理		)併用	<b>V</b>			
容及	<ul><li>③外装材</li></ul>	•上部構造	部分		外装材•上部構造部分	か取り	 り壊し	□ 手(		LH (					
び 解		ナ r#			☑有 □無	de 1		<ul><li>✓ 手付</li><li>□ 手付</li></ul>	作業・機材	戒作業の	)併用				
体	④基礎·基	を従くい			基礎・基礎ぐいの取りは  ▼ 有 □無	と			「F来 乍業・機材	戒作業の	)併用				
方法	⑤その他				その他の取り壊し			□ 手作							
H	( CB:	<b>無</b> )	順序		<ul><li>☑有 □無</li><li>□上の工程における①</li></ul>	) <del></del> (2)-	$\rightarrow 3 \rightarrow 4 \sigma$		乍業・機材	戒作業の	)併用				
		・サ v/ユ/エッ/	/ 小灰 / 丁		☑その他( <b>⑤→①→②</b> -	<b>3</b> →(	4)その他の	場合の理							
	☑内装标	才に木材が含	含まれる	5場合	<ul><li>①の工程における木材</li><li>□可 ☑不可 不可の場</li></ul>										
	建築物に用いられた建設資材の量の見込み					<del>= □ 、                                  </del>									
廃	T			頁ごとの量	種類		量の見込み		生が見る						
d.t	F の見込み及びその発生が見込まれる			☑コンクリート塊		<b>25</b> N		$\square$ 2	<b>4</b> 3						
発生	建築物の	可勿			□アスファルト・コンクリート塊		<del>ا ري</del> :۱								
見															
込量	(注) ①建築	受設備・内装材等	②屋根	よふき材 ③外装	は       は    は    は    は    は    は	は礎ぐい		<u> </u>							
備者	· 与														

記載例

建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

,	使用する* 資材の			<b>⊿</b> コンクリート及び鉄から成。 コンクリート ☑木材	る建設資材 ◀		<b>使用する特定建設資材をチェック</b>
油	築物に関	建築物の 状況	築年数年 その他(		)	<b>₹</b>	<b>新築の場合は空欄</b>
		周辺状況	敷地境界との最	☑住宅 ☑商業施設 ☑: 短距離 約 <u>2</u> m <b>道路(府道)沿い、交通量</b>	•		他( 幼稚園 ) 説界から建物の壁までの距離
			建築物	に関する調査の結果	工	事着手向	前に実施する措置の内容
		作業場所	作業場所 ☑十 その他(	分 □不十分 )	•		不十分な場合は対応を記入 (例) 隣地を借りる 等
		搬出経路	障害物 図有(前面道路の幅員通学路 図有 [その他(大型事	 □無		設置には	・ い工事用道路の確保 常駐
す結事実	築物に関 る調査の 果及び工 着手前に 施する措 置の内容	特定建設 資材への 付着物 (修繕・模様 替工事のみ)	□非飛散性 □石綿含	有仕上塗材 <u>使用面積 ㎡</u> 有成型板等 <u>使用面積 ㎡</u>	大阪府生活届出につい	舌環境の保	全衛生法石綿則、 全等に関する条例に基づく 予定 □届出対象外
		その他 特定建設資 材にり、生産 いない、発生する有害・模様 替工事のみ)	□非飛散性 □石綿含	有仕上塗材 <u>使用面積 ㎡</u> 有成型板等 <u>使用面積 ㎡</u>	大阪府生活届出につい	舌環境の保	全衛生法石綿則、 全等に関する条例に基づく 予定 □届出対象外
		フロン (修繕・模様替 工事のみ)		アコン・冷凍冷蔵機器のうち 吏われているもの)			
工		工程				(内容	
Ĩ,	<ul><li>①造成等</li></ul>	t		造成等の工事 ☑有 □無			500万円超の工事があれば 別途届出が必要
との	②基礎・基			基礎・基礎ぐいの工事 ☑			
作業	③上部構	造部分•外掌	<b>芸</b>	上部構造部分・外装の工具	事 ☑有 □無	₩	
内容	④屋根			屋根の工事 ☑有 □無			
	⑤建築設	備·内装等		建築設備・内装等の工事	☑有 □無		
	⑥その他 ( <b>仮設</b>	)		その他の工事 ☑有 □無	ŧ		
廃棄			の種類ごとの量 建設資材が使	種類	量の見込	み	使用する部分又は発生が 見込まれる部分(注)
物発	用される質	建築物の部分	みび特定建設 見込まれる建築	☑コンクリート塊		20トン	□① <b>Z</b> ② <b>Z</b> ③ □④ <b>Z</b> ⑤ □⑥
生見	物の部分			☑アスファルト・コンクリート塊		<b>2</b> トン	
込量				☑建設発生木材		10トン	□(1) □(2) <b>☑</b> (3) □(4) <b>☑</b> (5) <b>☑</b> (6)
		等②基礎③	上部構造部分·外装(	④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥その	)他		
備者	<b></b>						

(A4)

記載例

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

東京		工作物の (解体工事		□鉄筋コンク	リート造 □その他(		)	解包	本工事の場合	はチェック	
第4年 (中央 1 中央		工事の	種類					その他(	開発工	事 )	
工作物に関す				☑コンクリート	<ul><li>□コンクリート及び鉄か</li></ul>			4			
周辺状況   周辺状況   一次の他(				築年数			•		新築工事	の場合は空欄	
下来場所 日十分 日本十分				周辺にある施 敷地境界との	)最短距離約 <u>3</u> m			工事現場	の周辺状況、騒		1
作業場所   作業場所   存業場所   存業場所   日本の他(						通量多り					<u></u>
操出経路   操出経路   横元建設   一有 ( □ 展院在五線 ( 大気 ) 大気 ) 一条   一条			作業場所	作業場所 🗸						<u> </u>	_
前面道路の稲員 約 12 m   一方の稲食			搬出経路		<u>)</u> f( ) <b>』</b> 無						-
大の他(				前面道路の軸	區員 約 <u>12</u> m		交通整備	員の常駐	ŧ		
			at the free	その他(	)						_
新書東京に	1		資材への	□有(□飛散		有断				-	
第一条   第二条の分   2   2   2   2   2   2   2   2   2						<sup>2</sup>		1002	. 🗆 🗆	E b	
型無							山油出済 L	」庙出了正	. 山庙出对	家外	
その他 特定建設資材に分割していない。解析時に正立っていない。解析時に正立っては、自動では、自動では、自動では、自動では、自動では、自動では、自動では、自動で	1			1	<u>t</u> (	))					
「記録していない、解体時に発生する有 書物質 (解体 注発生する有 書物質 (解体 工事のみ)   図無		重の四谷	その他	***	性石綿(吹付け石綿、石綿含布	有断	大気汚染防止	法•安全衛	5生法石綿則	<u> </u>	-
2				_ " = " = "				境の保全等	等に関する条	例に基づく	
古納宮(解体・			ない、解体時			m²		届出予定	· □ 居田科	<b></b>	
図無   Pan			害物質(解体・	□石絲	帛含有成型板等 使用面積	m²		3/Ш II /С	. —	<i>≫</i> ,/1	
その他   無し   作業内容   分別解体等の方法 (解体工事のみ)   日報   日報   日報   日報   日報   日報   日報   日					<u>tt</u> (	))					
工			その他				周辺住民	に工事内	内容を広報	鼠、 周知する。	_
□ 仮設     □ 仮設     □ 仮設     □ 原作業    □	1		工程		作業内	容					
②土工	ごと	①仮設			仮設工事 ☑有 □無			□ 手作	業		
本体構造   基礎工事	作	②土工			土工事 🗹 有 口無			□ 手作	業		
本体構造		③基礎			基礎工事 7有 □無					の併用	_
丁字作業・機械作業の併用	容							I		の併用	
解体方法		4本体構	造		本体構造の工事 ☑有	□無				の併用	
方法   6 その他(		⑤本体付	属品		本体付属品の工事 🛂	有 口無	<b>\{</b>				_
工事の工程の順序	方	のその針	(	)	その他の工事 口有 🔽	<del>Ш</del>				の併用	_
工作物に用いられた建設資材の量の見込み (解体工事のみ)   大次   「本で建設資材の産業でもの他の場合の理由(	法	O'C VAILE	(	,		<i></i>				の併用	
下作物に用いられた建設資材の量の見込み (解体工事のみ)   トン   「使用する部分又は発生が 見込まれる部分(注)   「では設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み (全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)   「のみ)   「のより、「のもの場合の理由(					_	$\rightarrow 4 \rightarrow 6$	③の順序	) •	<b>←</b>	知けて声の	
下文		(角	<b>解体工事の</b>	<b>み</b> )				,			L
乗 物 物 形 発 上 主 力)及び特定建設資材廃棄物の発生が見 込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工 事のみ)       世知 日 20月 20月 20月 20月 20月 20月 20月 20月 20月 20月	I				トン			•		記入	ĺ
物 か み) 及び特定建設資材廃棄物の発生が見 込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工 事のみ) しまれる工作物の部分(維持・修繕・解体工 事のみ)  「10トン □5 □6 □1 □2 □3 □4 □2 □3 □4 □2 □3 □4 □3 □4 □3 □4 □3 □4 □3 □4 □3 □4 □4 □4 □4 □4 □4 □4 □4 □4 □4 □4 □4 □4	12/2		11-4-4-11 - 66	短ったの畳の目が	TENET.		<u> </u>			又は発生が	
生事のみ)     ロアスファルト・コンクリート塊     ロ① 図② □③ □④       込量     □① □② □③ □④	棄	み(全工事)	並びに特定建	設資材が使用さ	1	里。					_
<ul><li>込量</li><li>量</li><li>量</li><li>量</li><li>量</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()</li><li>()<!--</td--><td>棄物</td><td>み(全工事) れる工作物の み)及び特定</td><td>並びに特定建 の部分(新築・ を建設資材廃棄</td><td>設資材が使用さ 維持・修繕工事の 寒物の発生が見</td><td></td><td>里。</td><td></td><td></td><td><b>Z</b>2 □3 □6</td><td>4</td><td>_</td></li></ul>	棄物	み(全工事) れる工作物の み)及び特定	並びに特定建 の部分(新築・ を建設資材廃棄	設資材が使用さ 維持・修繕工事の 寒物の発生が見		里。			<b>Z</b> 2 □3 □6	4	_
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他	棄物発生	み(全工事) れる工作物( み)及び特別 込まれる工作	並びに特定建 の部分(新築・ を建設資材廃棄	設資材が使用さ 維持・修繕工事の 寒物の発生が見	☑コンクリート塊	里。	10トン		<b>Z</b> 2	4	_
	棄物発生見込	み(全工事) れる工作物( み)及び特別 込まれる工作	並びに特定建 の部分(新築・ を建設資材廃棄	設資材が使用さ 維持・修繕工事の 寒物の発生が見	☑コンクリート塊 ☑アスファルト・コンクリート塊	里。	10トン		<b>Z</b> 2	□ <b>④</b> □ <b>④</b>	

<sup>□</sup>欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

**O** 年 **x** 月 Δ 日

記載例

### 委 任 状

私は都合により下記の者を代理者と定め、下記の建築物等の工事について、建設工事に係る 資材の再資源化等に関する法律第10条に基づく届出の手続きに関する一切の権限を委任しま す。

記

- (電 話 番 号 ) 072 OOO ××××

代理者の氏名 (株)O × 解 体 (代)解 体 椎 也

委 任 者

住 所 **八尾市○○町△丁目××番** 

フ リ ガ ナ **カワチ オンコ** 

様式第一号及び第二号への押印は不要ですが、委任者の押印が必要となります。

# 工 程 表

(建築物解体工事の場合)

作業内容	○月○日	○月○日	○月○日	○月○日	○月○日	○月○日	○月○日
①養生シート等の設置	$\longleftrightarrow$						l
②重機の搬入	$\longleftrightarrow$						] 
③障害物の除去	$\longleftrightarrow$						
④建具、畳等の撤去	$\longleftrightarrow$						İ
⑤石膏ボードの手壊し		$\longleftrightarrow$					
⑥手作業による瓦降ろし		$\longleftrightarrow$					- I I
⑦機械併用の上屋解体			<	<del></del>			  -  -
⑧木材等の積込・搬出			<	<b></b>			<u> </u>
⑨混廃の積込・搬出					<	<b></b>	
⑩基礎・土間の解体						<del>&lt;</del>	
⑪コン塊の積込・搬出						<	$\stackrel{I}{\longrightarrow}$
②養生シート等の撤去							$\longleftrightarrow$
③整地・完了							  ←──→
							! [
							I 
							I I

#### この書類は受注者から発注者への説明用に用います

(法第12条関係)

### 記載例

### 説 明書

〇 年 × 月 △ 日

(発注者)

#### **河内 音子** 様

氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名)

(株)O × 解 体 (代)解 体 椎 也

\_(郵便番号 OOO — ●●●● ) 電話番号 072 —OOO—××××

住所 **八尾市○○町△△丁目▼▼** 

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第12条第1項の規定により、対象建設工事の届出に係る事項について下記のとおり説明します。

記

- 1. 説明内容 添付資料のとおり
- 2. 添付資料
  - ①届出書(様式第一号に必要事項を記載したもの)
  - ②別表(別表1~3のいずれかに必要事項を記載したもの)
    - ☑別表1 (建築物に係る解体工事)
    - □別表2(建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替))
    - □別表3(建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等))
  - ③その他の別添資料(添付する場合)
    - ☑案内図
    - 鬥工程表
- [注] 本様式は発注者に対して説明することにあたり、書面で行う場合の標準様式を参考として示すものである。

(建築物に係る解体工事の場合)

1.	分別解体等の方法												
工程	工程	作	業	内	容	分	別	解	体	等	の	方	法
ごとの	①建築設備・内装材等		• 内装材 <sup>会</sup> 無	等の取り夕	<b> </b>	口手	手作業 手作業 目の場	美・村			-	用	)
作業内	②屋根ふき材	屋根ふき	材の取り <i>。</i> 無	外し			手作業 手作業 目の場	美・村			-	用 <b>朽</b>	)
容及び解	③外装材・上部構造部分	ا د د ا	上部構造語 無	部分の取り	壊し		手作美		幾械亻	乍業の	の併	用	
体方法	④基礎・基礎ぐい	基礎・基	遊ぐいの] 無	取り壊し			手作業		幾械化	乍業の	の併	用	
	⑤その他( )	その他の! 口有 <b>日</b>	取り壊し 無				手作美		幾械化	乍業の	の併	用	
※届は	出書の写しを添付すること	でもよい											
0	知仏でするまみず悪田			•		$\sim$		$\sim$		ш	/七丛 >	<b>→ \</b>	

2. 解体工事に要する費用 (受注者の見積金額)

¥○, ○○○, ○○○ 円 (稅込)

3. 再資源化等をするための施設の名称及び所在地

別紙のとおり

4. 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用 <u>¥〇,〇〇〇,〇〇〇 円(税込)</u> (受注者の見積金額)

#### 別 紙

(書ききれない場合は別紙に記載)

特定建設資材廃棄物 の種類	施設の名称	所 在 地
コンクリート	○○興業(株)	○○県△△市×××
木 材	日本〇〇(株)	○○県△△市×××

※受注者が選択した施設を記載(品目ごとに複数記入可)

#### この書類は受注者から下請業者への説明用に用います

(法第12条関係)

記載例

### 告 知 書

○年×月△日

(下請負人)

### <u>(有) △ △ 興 業</u> (代) 八 尾 太 郎 様

氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名)

(株)○ × 解 体 (代)解 体 椎 也

\_(郵便番号 OOO — ●●●● ) 電話番号 072—OOO—××××

住所 八尾市○○町△△丁目▼▼

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第12条第2項の規定により、対象建設工事の届出に係る事項について告知します。

記

- 1. 添付資料
  - ①届出書(様式第一号に必要事項を記載したもの)
  - ②別表(別表1~3のいずれかに必要事項を記載したもの)
    - ☑別表1(建築物に係る解体工事)
    - □別表2(建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替))
    - □別表3(建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(十木工事等))
  - ③その他の別添資料(添付する場合)
    - ☑案内図
    - ☑工程表
    - [注] 本様式は下請負人に対して告知することにあたり、書面で行う場合の標準様式を参考として示すものである。

#### この書類は受注者から発注者への再資源化の報告に用います

### 記載例

### 再資源化等報告書

○年×月△日

(発注者)

河内 花子 様

氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名)

(株)○ × 解 体 (代)解 体 椎 也

\_(郵便番号 OOO — ●●●● ) 電話番号 072—OOO—××××

住所 八尾市○○町△△丁目▼▼

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条第1項の規定により、下記のとおり、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したことを報告します。

記

- 1. 工事の名称 O O 様 邸 解 体 エ 事
- 2. 工事の場所 **八尾市〇〇町△丁目××番**
- 3. 再資源化等が完了した年月日
- ○年 ×月 △日
- 4. 再資源化等をした施設の名称及び所在地 (書ききれない場合は別紙に記載)

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート	○○興業(株)	$\bigcirc\bigcirc$ 県 $\triangle$ $\triangle$ 市 $\times$ $\times$ $\times$
木 材	日本〇〇(株)	$\bigcirc\bigcirc$ 県 $\triangle$ $\triangle$ 市 $\times$ $\times$ $\times$

5.	特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用	_000	万円
	( ž	肖費税及び地方消費税	を含む)

(参考資料を添付する場合の添付資料) ※資源有効利用促進法に定められた一定規模以上の工事の場合など

- □再生資源利用実施書(必要事項を記載したもの)
- □再生資源利用促進実施書(必要事項を記載したもの)

(様式第一号) (A4)

### 届出書

(0) ()1/	八尾市長					年 月 日
		カナ				
発注者又は自	主施工者の氏名	(法人にあって				
		(郵便番	舒号 一	)電話番号		
	(転居予定先)	住所(郵便等	\$号 —	)電話番号		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<b>子</b> 一	/电砧笛万		
		住所				
建設工事に係	る資材の再資源	化等に関す	る法律第10	条第1項の規定	它により、下記のとおり原	届け出ます。
				記		
1. 工事の概要						
①工事の名称	<u> </u>					
	ř					
③工事の種類						
	pri- 9/3/111 — 3				、工事対象床面積の	_ ···
□建築物に	係る新築又は増築	築の工事	用途	_、階数	、工事対象床面積の	)合計 <u>m2</u>
□建築物に	係る新築工事等で	であって新乳	築又は増築 <i>の</i>	)工事に該当し	ないもの	
			用途	、階数	、請負代金 _	万円
	外のものに係る解 施工の別:□請負			<b>学</b>	請負代金 _	万円
· 元詰業者(註	青負契約によらな!	ハで白ら梅	Tする堪会に	1記載不更)		
<i>x</i> = <i>n</i> , <i>x</i> , <i>y</i> = <i>x</i> , <i>n</i> , <i>y</i>	は、大学などので		T ) 000 U (o	大叫报门安/		
	にあっては商号又 - )電話		び代表者のB 	元名)		_
③許可番号(を) □建設業の						
③許可番号(≦ □建設業の	場合	て□知事	( – )	号	(工事業)	
③許可番号(系 □建設業の 建設業許可	場合 可□ 者(監理技術者)』				(工事業)	
③許可番号(を □建設業の 建設業許可 主任技術者 □解体工事	場合 可□ 者(監理技術者)£ 業の場合	夭名		号	(工事業)	
③許可番号(3 □建設業の3 建設業許ら 主任技術者 □解体工事。 解体工事等	場合 可□対 者(監理技術者) 業の場合 業登録	氏名 _知事			(工事業)	
③許可番号(3 □建設業の3 建設業許ら 主任技術者 □解体工事3	場合 可□ 者(監理技術者)£ 業の場合	氏名 _知事			(工事業)	
③許可番号(3) □建設業の記 建設業許可 主任技術者 □解体工事 財務管理者 3. 対象建設工	場合 可□対 者(監理技術者) 業の場合 業登録	氏名 _知事	号 号 第1項の規定	でよる説明を		
③許可番号(3) □建設業の記 建設業許可 主任技術者 □解体工事記 対係管理者 3. 対象建設工品 (請負契約に	場合 可□  者(監理技術者) 業の場合 業登録  者氏名事の元請業者から	氏名 _知事	号 号 第1項の規定	でよる説明を		
③許可番号(3) □建設業の注 建設業許可 主任技術者 □解体工事 技術管理者 3. 対象建設工 (請負契約に 年 )	場合 可□ 者(監理技術者) B 業の場合 業登録 者氏名 事の元請業者から こよらないで自らが	氏名 _知事	号 号 第1項の規定	でよる説明を		
③許可番号(3) □建設業の記 建設業許可 主任技術者 □解体工事 技術管理者 3. 対象建設工 (請負契約に 年 」 (計算を表現のである。) 1. 分別解体等の 建築物に係	場合 可□ 者(監理技術者) B 業の場合 業登録 者氏名 事の元請業者から こよらないで自らが 月 日 の計画等 系る解体工事につ	氏名 知事 - - - - - - - - - - - - -	号 第1項の規定 合は記載不要 長1	でよる説明を		
③許可番号(3) □建設業の3 建設業許可主任技術術事業 技術等理報 表別解体工事等 技術管理報 3. 対象建契約に年 月 分別解体等の建築物に係	場合 可□ 者(監理技術者) B 業の場合 業登録 者氏名 事の元請業者から よらないで自らが 月 日 の計画等 系る新築工事等に 系る新築工事等に	氏名 知事 ら法第12条 を工する場合 いては別ま	号 第1項の規定 合は記載不要 長1 引表2	とによる説明を と)	受けた年月日	
③許可番号(3) □建設業の3 建設業許可主任技術術事業 技術等理報 表別解体工事等 技術管理報 表別解体等 企	場合 可□ 者(監理技術者) B 業の場合 業登録 者氏名 事の元請業者から よらないで自らが 月 日 の計画等 系る新築工事等に 外のものに係る解	氏名 知事 ら法第12条 を工する場合 いては別ま	号 第1項の規定 合は記載不要 長1 引表2	とによる説明を と)	受けた年月日	
③許可番号(3) □ 量報業の記載業許可事報業の記載業許可事報業 大大大 一	場合 可□ 者(監理技術者) B 業の場合 業登録 者氏名 事の元請業者から よらないで自らが 月 日 の計画等 系る新築工事等に 外のものに係る解	氏名 知事 ら法第12条 を工する場合 いては別ま	号 第1項の規定 合は記載不要 長1 引表2	とによる説明を と)	受けた年月日	
③許可番号(3) 二 章	場合 可□ 者(監理技術者) B 業の場合 業登録 者氏名 事の元請業者から よらないで自らが 月 日 の計画等 系る新築工事等に 外のものに係る解	氏名 知事 ら法第12条 を工する場合 いては別ま	号 第1項の規定 合は記載不要 長1 引表2	とによる説明を と)	受けた年月日	年月
③許可番号(3) □建設業許可事報業の記載 業許可事報 業計 主任技術事業 技術体工事	場合 可口が 者(監理技術者) 日 者(監理技術者) 日 業登録 事の元請業者かれ よらないで自らが 日 の計画体工事等につなる 外のものに係る解 ること。	氏名 _知事 	第1項の規定 第1項の規定 合は記載不要 長1 刊表2 は新築工事等	でによる説明を 更) については別	受けた年月日 表3 (工事着手予定日) (工事完了予定日)	年月
③許可番号(3) □建設業許可事報業の記載 業許可事報 業計 主任技術事業 技術体工事	場合 可口が 者(監理技術者) 日 者(監理技術者) 日 業登録 事の元請業者かれ よらないで自らが 日 の計画体工事等につなる 外のものに係る解 ること。	氏名 _知事 	第1項の規定 第1項の規定 合は記載不要 長1 刊表2 は新築工事等	でによる説明を 更) については別	受けた年月日 表3 (工事着手予定日)	年月
③許可番号(3) 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	場合 可口が 者(監理技術者) 日 者(監理技術者) 日 業登録 事の元請業者かれ よらないで自らが 日 の計画体工事等につなる 外のものに係る解 ること。	氏名 _知事 _ ら法第12条 ら正する場合 いては別別またついてはは別別ないではは別別ないではないではないではないではない。 体工事又に	第1項の規定 第1項の規定 合は記載不要 長1 川表2 は新築工事等	でによる説明を 要) 「については別 なは、「別紙のとお	受けた年月日 表3 (工事着手予定日) (工事完了予定日) り」と記載し、別紙を添付する	年月

※受付番号

建築物に係る解体工事

	建築	物の構造			□鉄骨鉄筋コンクリート造 □コンクリートブロック造			ート造		)		
Z±1·	タンド トリー・ファー 日日	建築物の制	犬況	築年数_	年、棟数棟	<u> </u>	C *>  E (	\				
	築物に関 る調査の 結果	周辺状況		敷地境界	る施設 □住宅 □商業 との最短距離 約	施設 m	□学校□	<i>)</i> 病院 、	□その	他(		)
				その他( 建 <sup>第</sup>	築物に関する調査の結果 工事着				宝施す	て井品	異の内	 灾
		作業場所			一十分 口不十分		エチ有	טויה ו	· <del></del>	1 日 آ	<u> </u>	10"
		搬出経路										
					□有 □無							
		残存物品	フロン	□有(業務	デ用エアコン・冷凍冷蔵機器のう マン類が使われているもの)	ち						
			その他	□無 □有( □無	)							•
	築物に関 る調査の	特定建設	□有		石綿(吹付け石綿、石綿含有脚	î	大気汚染防止					
	果及び工 着手前に	資材への 付着物		□非飛散性	熱材、保温材等) 生石綿		大阪府生活環 届出について	境の保全	き等に関	する条例	引に基づ	K
実	施する措置の内容				有仕上塗材 <u>使用面積</u> ㎡ 有成型板等 <u>使用面積</u> ㎡		□届出済 □	]届出予	定 □ 届	届出対象	外	
I	10771分			□その他(	·	)						
		その他 (特定建設資		(□飛散性石				大気汚染防止法・安全衛生法石綿則、 大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく				
		材に付着していない、解体		□非飛散性	生石綿 届出について			_				
		時に発生する有害物質)			有仕上塗材     使用面積     ㎡       有成型板等     使用面積     ㎡		□届出済□	□届出予定 □届出対象外				
		17 17 17 17 17	□無	□その他(	)	)						
		フロン	口有		アコン・冷凍冷蔵機器のうちフロ れているもの)	ン						
エ		<b>十</b> 和	□無		16-346 d-152			分別解体等の方法				
程ごと		工程 備•内装材 <sup>©</sup>			作業内容 建築設備・内装材等の取り外し			□ 手作業				
の作			•		□有□無			□ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由( )				
	②屋根ふ	き材			屋根ふき材の取り外し			□ 手作業				
容及					□有□無			□ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由( )				
び解	③外装材	•上部構造語	部分		外装材·上部構造部分 <sup>6</sup> □有 □無	り取り	壊し	<ul><li>□ 手作</li></ul>	乍業 乍業・機相	戒作業の	)併用	
体方	④基礎・基	<b>基礎ぐい</b>			基礎・基礎ぐいの取り壊□有 □無	し		<ul><li>□ 手作</li><li>□ 手作</li></ul>	乍業 乍業・機	戒作業の	併用	
法	⑤その他 (	`			その他の取り壊し			□ 手作				
	工	事の工程の	順序		<ul><li>□有 □無</li><li>□上の工程における①→②</li></ul>				上来"陇	双11+未り	лтт	
□内装材に木材が含まれる場合				場合	①の工程における木材の分別	に支障			の取り外	) ·L		
	建築物に用い	られた建設資	材の量の	0見込み	□可 □不可 不可の場合	<u>の理</u> ン	∃(			)		
廃	特定建設	資材廃棄物	の種類	質ごとの量	種類		の見込み	発	生が見る	込まれる	5部分(注	注)
棄物	の見込み	及びその発 部分	生が見	込まれる	□コンクリート塊		トン					
発生見					□アスファルト・コンクリート塊		トン		<u></u>			
兄込量					□建設発生木材		トン					
		設備・内装材等	②屋根	ふき材 ③外	 装材・上部構造部分 ④基礎・基礎	遊ぐい	⑤その他	•				
備ネ	夸											

# 建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)分別解体等の計画等

	使用する特			ココンクリート及び鉄から月	成る建	設資材	
	資材の			コンクリート 口木材			
建	築物に関	建築物の 状況	築年数年 その他(	、棟数棟		)	
1	る調査の	周辺状況		□住宅 □商業施設 [		<u>/</u> : □病院 □その他	(
	結果	7-1 /2-1/1/06		短距離 約m			
			その他(			)	
			·	に関する調査の結果		工事着手前に実	施する措置の内容
		作業場所	作業場所 □十 その他(	)			
		搬出経路	障害物 □有(	) □無			
			前面道路の幅員 通学路 □有 [				
			過子路   口有   1  その他(	) )			
		特定建設			f ;	大気汚染防止法·安全衛生	上法石綿則、
建	築物に関	資材への		熱材、保温材等)	- 1	大阪府生活環境の保全等に	に関する条例に基づく
	る調査の	付着物	□非飛散性			<b>届出について</b>	
	果及び工	(修繕・模様 替工事のみ)		有仕上塗材 使用面積       m²         有成型板等 使用面積       m²	l	□届出済 □届出予定	□届出対象外
	着手前に施する措		□その他(		))		
1	: 肔りの指 置の内容		□無				
	₹.১1 1.¤	その他	□有 (□飛散性石	5綿(吹付け石綿、石綿含有断		大気汚染防止法·安全衛生	
		特定建設資 材に付着して		熱材、保温材等)	1	大阪府生活環境の保全等に	に関する条例に基づく
		いない、解体	□非飛散性	E 白綿 有仕上塗材 <u>使用面積     ㎡</u>		届出について □届出済 □届出予定	□艮山牡布#
		時に発生す る有害物質		有成型板等 <u>使用面積</u>		□油田饼 □油田丁足	山油山州家外
		(修繕・模様	□その他(	)	))		
		替工事のみ)	□無				
		フロン (修繕・模様替	— 1.	アコン・冷凍冷蔵機器のうち もわれているもの)			
		工事のみ)					
工		工程		作業内容			
程ご	①造成等			造成等の工事 □有 □無			
との	②基礎・基			基礎・基礎ぐいの工事 □有 □無			
作業	③上部構	造部分•外對	± ×	上部構造部分・外装の工事 □有 □無			
内容	④屋根			屋根の工事 □有 □無			
	⑤建築設	備•内装等		建築設備・内装等の工事 □有 □無			
	<ul><li>⑥その他</li><li>(</li></ul>	)		その他の工事 □有 □	無		
	の見込み	並びに特定	の種類ごとの量 建設資材が使	種類	量(	り見込み	が部分又は発生が見込まれる部分(注)
物発	資材廃棄		}及び特定建設 見込まれる建築	□コンクリート塊		トン 🗆 🗇 🗆	
生見	物の部分			□アスファルト・コンクリート塊		□① □(    トン □(5) □(	6
込量				□建設発生木材		□① □() トン □(5) □()	
=	(注) ①造成	(等 ②基礎 ③)	上部構造部分·外装(	①屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥そ	その他		<u> </u>
備る	<b>-</b> 考						
VIII	•						

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

| 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)|
| 分別解体等の計画等|

工作物の構造 (解体工事のみ)				ト造 □その他(	)	
	工事の	種類		維持・修繕工事 □解体 [ □ガス □下水道 □釒		7.2.の4.( )
	用する特定建		□コンクリート	ココンクリート及び鉄からほ		」での他( )
()	新樂·維持·修	工作物の	□アスファルト・: 築年数年	コンクリート □木材 :		
1	作物に関 る調査の	状況 周辺状況	その他(周辺にある施設	□住宅 □商業施設 [	) □学校 □病院	
	結果			:短距離 約m	1 1 K L/196	
				 に関する調査の結果	/ 工事着	 手手前に実施する措置の内容
		作業場所	作業場所 □十			
		搬出経路	その他( 障害物 □有(	) ) □無		
			前面道路の幅員 通学路 □有	員 約m		
			その他(	)		
	作物に関	特定建設資材への	□有 (□飛散性? 	石綿 (吹付け石綿、石綿含有断 熱材、保温材等)	<b>I</b>	上法・安全衛生法石綿則、 環境の保全等に関する条例に基づく
結	る調査の 果及び工	付着物 (解体·維持修	□非飛散1 □石組含	生石綿 有仕上塗材 使用面積 ㎡	届出について	□届出予定 □届出対象外
	着手前に 施する措	繕工事のみ)		有成型板等 使用面積 m²	)	
置	置の内容		□無			
		その他特定建設資材	□有(□飛散性科	石綿(吹付け石綿、石綿含有断 熱材、保温材等)		上法・安全衛生法石綿則、 環境の保全等に関する条例に基づく
		に付着してい ない、解体時 に発生する有	□非飛散1 □石組含	生石綿 有仕上塗材 使用面積    ㎡	届出について	○ 届出予定 □ 届出対象外
		害物質(解体· 維持修繕工事		有成型板等 使用面積 m²		
		のみ)	□無	( )	)	
工		その他				分別解体等の方法
程ごと	⊘ /H==n.	工程 ————		作業内容	<u> </u>	(解体工事のみ)
の作	①仮設			仮設工事 □有 □無		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
業内	②土工			土工事 □有 □無		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
容	③基礎			基礎工事 □有 □無		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
及び知	④本体構	造		本体構造の工事 □有	□無	□ 手作業
解体力	<ul><li>⑤本体付。</li></ul>			本体付属品の工事 □ 4		□ 手作業・機械作業の併用 □ 手作業
方法	⑥その他	(	)	その他の工事 □有 □	<del>#</del>	□ 手作業・機械作業の併用 □ 手作業
			,			□ 手作業・機械作業の併用
		事の工程の 解体工事の		□上の工程における⑤- □その他(	→(4)→(3)の順序	)
	工作物に	ニ用いられた建	設資材の量	その他の場合の理由(		)
婑	工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)			トン		使用する部分又は発生が
廃 特定建設資材廃棄物の種 棄 (全工事)並びに特定建設				14. 4元	量の見込み	
棄	特定建設資(全工事)並	びに特定建設	資材が使用される工	<u>種類</u>		見込まれる部分(注)
棄物発	特定建設資 (全工事)並 作物の部分 特定建設資	びに特定建設 (新築・維持・修	資材が使用される工 経工事のみ)及び 生が見込まれる工作			
棄物発生	特定建設資 (全工事)並 作物の部分 特定建設資	びに特定建設 (新築・維持・修 材廃棄物の発	資材が使用される工 経工事のみ)及び 生が見込まれる工作	·	<i>ب</i> ا	
棄物発生見込	特定建設資 (全工事)並 作物の部分 特定建設資	びに特定建設 (新築・維持・修 材廃棄物の発	資材が使用される工 経工事のみ)及び 生が見込まれる工作	□コンクリート塊	k k	□① □② □③ □④ □⑤ □⑥ □① □② □③ □④ □① □② □③ □④
棄物発生見	特定建設資 (全工事)並作物の部分 特定建設資 物の部分(維 (注) ①仮設	びに特定建設・ (新築・維持・修 材廃棄物の発 挂持・修繕・解体	資材が使用される工 経工事のみ)及び 生が見込まれる工作	□コンクリート塊 □アスファルト・コンクリート塊 □建設発生木材	k k	□① □② □③ □④ ✓ □⑤ □⑥ □① □② □③ □④ ✓ □⑤ □⑥

### 変更届出書

変更 箇所	年 月 日
	(あて先) 八尾市長
	フリガナ
	発注者又は自主施工者の氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名) (郵便番号 ー )電話番号 ー ー
	住所
	(転居予定先) (郵便番号 - )電話番号
	住所
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第2項の規定により、下記のとおり変更を届け出ます。
	記
	1. 工事の概要
	①工事の名称
	②工事の場所
	③工事の種類及び規模
	□建築物に係る解体工事 用途、階数、工事対象床面積の合計 <u>m2</u>
	□建築物に係る新築又は増築の工事 用途 、
	□建築物に係る新築工事等であって新築又は増築の工事に該当しないもの
	用途、階数、請負代金
	□建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金 <u>万円</u>
	④請負・自主施工の別:□請負 □自主施工
	2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)
	フリガナ ①氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名)
	(郵便番号 – )電話番号 – –
	②住所
	③許可番号(登録番号) □建設業の場合
	主任技術者(監理技術者)氏名
	□解体工事業の場合
	解体工事業登録
	技術管理者氏名
	3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日
	(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)
	<u>年月日</u>
	4. 分別解体等の計画等
	↑ 建築物に係る解体工事については別表1
	建築物に係る新築工事等については別表2 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3
	により記載すること。
	5. 工程の概要
	(工事着手予定日) <u>年月日</u>
	(工事完了予定日) <u>年月日</u> (できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。)
(注意)	型にたままなど発売にて「1~1 女子・オマル

- 1 □欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。
- 2 届出書に添付した対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真に変更がある場合には、新たな設計図又は写真を添付する こと。

建築物に係る解休工事

変更 箇所	分別解体等の計画等										
	建築	物の構造			□鉄骨鉄筋コンクリートi □コンクリートブロック:			ート造	)		
	7-1. (v/c; 4/_ ) ~ HH	建築物の状	<b></b> 大況	築年数_		<u>~                                    </u>	( ->   E (	`	,		
	建築物に関する調査の結果	周辺状況		I .	る施設 □住宅 □商業 との最短距離 約		□学校 □	) 病院 □その )	)他(		)
	作業場所				- 英物に関する調査の結果	Į.	工事着	<u>/</u> 手前に実施っ	トる措置	の内容	<del></del>
				作業場所その他(	「□十分 □不十分 )						
		搬出経路		障害物 前面道路							
		残存物品	フロン	□有(業務	5用エアコン・冷凍冷蔵機器の ン類が使われているもの)	うち					
	74 66 (1)		その他	□有(□無	)						
	建築物に関する調査の 結果及び工 事着手前に 実施する措 置の内容	特定建設 資材への 付着物	□有	<ul><li>(□飛散性和</li><li>□非飛散性和</li><li>□非飛散性和</li><li>□石綿含</li></ul>	有仕上塗材 <u>使用面積</u> m 有成型板等 <u>使用面積</u> m	i	大阪府生活環 届出について	法・安全衛生法 境の保全等に関 届出予定 □ □	する条例		<
	その他 (特定建設資 材に付着して いない、解体 時に発生す る有害物質)			熱材、保温材等) 大阪府生活環境 届出について 日本総合有仕上塗材 使用面積 ㎡ 日出済 □ 日本総合有成型板等 使用面積 ㎡ 日本の他( ))		:法・安全衛生法石綿則、 対境の保全等に関する条例に基づく □届出予定 □届出対象外		<			
		フロン	□有□無		アコン・冷凍冷蔵機器のうちフいれているもの)						
	程	工程 備•内装材等			作業内建筑等の		1	¥体等の	)方法		
	ごと (U)建楽設   の   作	加 71	₹		建築設備・内装材等の取り外し 口有 口無			<ul><li>□ 手作業</li><li>□ 手作業・機材</li><li>併用の場合の理</li></ul>		併用	)
	業の内容	き材			屋根ふき材の取り外し □有 □無			<ul><li>□ 手作業</li><li>□ 手作業・機</li></ul>	械作業の	併用	
		・上部構造部	部分		外装材·上部構造部分	の取り	壊し	併用の場合の理 □ 手作業			)
	解	基礎ぐい			□有 □無 基礎・基礎ぐいの取り場	<u></u>		□ 手作業・機			
	法 ⑤その他				<ul><li>□有 □無</li><li>その他の取り壊し</li></ul>			□ 手作業·機			
	I( 	<u>)</u> :事の工程の	順序		<ul><li>□有 □無</li><li>□上の工程における①→②</li></ul>	2)→(3)-	→④の順序	□ 手作業・機	械作業の	併用	
	□内装材	すに木材が含	こまれる	場合	<ul><li>□その他(</li><li>①の工程における木材の分別</li><li>□可 □不可 不可の場合</li></ul>	別に支障			)		
	建築物に用い	られた建設資	材の量の	り見込み		トン	1 (		)		
		資材廃棄物 及びその発			種類	量	の見込み	発生が見			
	物産業物の			120000	□コンクリート塊	+	トン				
	生見				□アスファルト・コンクリート塊		トン				
	込 量 (注) ② (注)	7 ÷ 1. /# → , ↓ +	. @ = 1-	> *++	□建設発生木材	* 7# Av ·	トン				
	備考	₹政傭•凶装材等	- ② 座根	:ふさ材 ③外	装材・上部構造部分 ④基礎・基	古版へい	<b>少て</b> り他				

<sup>□</sup>欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

変更 箇所	分別解体等の計画等						
	使用する特			□コンクリート及び鉄から成	る建設資材		
	資材の			コンクリート □木材			
			築年数年 その他(	三、棟数棟	)		
	する調査の		周辺にある施設	□住宅 □商業施設 □	」学校 □病院	□その他(	
	結果		敷地境界との最  その他(	短距離 約m	)		
					一 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	・イギッタサイク世界の内容	
_				に関する調査の結果	上	手前に実施する措置の内容	
			作業場所 □十 その他(	·分 口不十分 )			
			障害物 □有(	)□無			
			前面道路の幅員 通学路 □有 [				
			その他(	)			
		特定建設 資材への	□有(□飛散性石	石綿(吹付け石綿、石綿含有断 熱材、保温材等)		法・安全衛生法石綿則、 はの保全等に関する条例に基づく	
		付着物	□非飛散性	性石綿	届出について		
	結果及び工	(修繕・模様 替工事のみ)		(有仕上塗材 <u>使用面積 ㎡</u> (有成型板等 <u>使用面積 ㎡</u>	□届出済□□	□届出対象外	
	事着手前に実施する措		□その他(	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	)		
	置の内容	その他	□無	石綿 (吹付け石綿、石綿含有断	十与无沈贴止	法・安全衛生法石綿則、	
		特定建設資	,	<ul><li>右綿(吹付け石綿、石綿呂有断</li><li>熱材、保温材等)</li></ul>	1	法・女生衛生法石締則、 環の保全等に関する条例に基づく	
		材に付着して いない、解体	□ クト/K RX I		届出について		
		時に発生する有害物質		(有仕上塗材 <u>使用面積 ㎡</u> (有成型板等 <u>使用面積 ㎡</u>	□届出済 ∟ 	□届出予定 □届出対象外	
		(修繕・模様	□その他(	) )	)		
		替工事のみ) フロン	<ul><li>□無</li><li>□有 (業務用エラ</li></ul>	アコン・冷凍冷蔵機器のうち			
		(修繕・模様替 工事のみ)		使われているもの)			
_	C VIII. D fefe	工程		作業内容			
	①造成等			造成等の工事 □有 □無			
	程②基礎・基	を礎ぐい		基礎・基礎ぐいの工事 □有 □無			
	と③上部構造の	造部分•外装	表	上部構造部分・外装の工事 □有 □無			
	作 ④屋根 業			屋根の工事 □有 □無			
		備•内装等		建築設備・内装等の工事	□有 □無		
	⑥その他 ( )	)		その他の工事 口有 口無	<b>無</b>		
			の種類ごとの量 建設資材が使	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)	
	乗 用される建物 資材廃棄物	建築物の部分	分及び特定建設 見込まれる建築	□コンクリート塊	トン		
	発物の部分生			□アスファルト・コンクリート塊			
	見 込			□建設発生木材			
		等 ②基礎 ③	上部構造部分·外装(	④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥その	の他		
	備考						

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

建築物以外のものに係る解休工事又は新築工事等(十木工事等)

変更 箇所								
121/21	工作物の様 (解体工事の			-ト造 □その他(	)			
	工事の種	重類		維持・修繕工事 □解体□ □ガス □下水道 □鉄		その他( )		
	使用する特定建設		□コンクリート[	□コンクリート及び鉄から成 □ンクリート □木材		<u> </u>		
		工作物の 犬況	築年数年 その他(		)			
		司辺状況	周辺にある施設	□住宅 □商業施設 □ 短距離 約m	]学校 □病院	□その他( )		
			その他(	に関する調査の結果	)	手前に実施する措置の内容		
	1	作業場所	作業場所 口十		上爭但	子前に 天心り ②相直の 竹谷		
		般出経路	その他( 障害物 □有(	) )				
			前面道路の幅員 通学路 □有 [ その他(	員 約m				
	工作物に関   資	寺定建設 資材への	□有(□飛散性石	5綿(吹付け石綿、石綿含有断 熱材、保温材等)		法・安全衛生法石綿則、 境の保全等に関する条例に基づく		
	結果及び工  (	寸着物 解体·維持修	□非飛散性 □石綿含	生石綿 有仕上塗材 <u>使用面積     ㎡</u>	届出について □届出済 □	]届出予定 □届出対象外		
	事着手前に 実施する措 置の内容  □  その他 特定建設資材 に付着してい ない、解体時		□石綿含 □その他(	有成型板等 <u>使用面積    ㎡</u> (      )	)			
			□無 □有 (□飛散性石	石綿(吹付け石綿、石綿含有断		法•安全衛生法石綿則、		
			□非飛散性	熱材、保温材等) 生石綿	大阪府生活環 届出について	境の保全等に関する条例に基づく		
	(書	ご発生する有 害物質(解体・	□石綿含	有仕上塗材 使用面積     ㎡       有成型板等 使用面積     ㎡		]届出予定 □届出対象外		
	σ	推持修繕工事 ()み)	<ul><li>□その他 (</li></ul>	( )	)			
	エ	その他		والمراجع المالا ما ا		分別解体等の方法		
	程ごと①仮設	工程		作業内容 仮設工事 □有 □無		(解体工事のみ) □ 手作業		
	の作のして			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		□ 手作業・機械作業の併用 □ 手作業		
	業 ②土工			土工事 口有 口無		□ 手作業・機械作業の併用		
	容多基礎及			基礎工事 □有 □無		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用		
	び ④本体構造解			本体構造の工事 □有 [		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用		
	体 方 法	46 		本体付属品の工事 口有		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用		
	(6)その他(		)	その他の工事 □有 □無		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用		
		事の工程の 解体工事の		□上の工程における⑤→ □その他( その他の場合の理由(	・④→③の順序	)		
		用いられた建 込み(解体工事		トン		,		
	金 (全工事)並び	に特定建設	質ごとの量の見込み 資材が使用される工	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が 見込まれる部分(注)		
		廃棄物の発	経工事のみ)及び 生が見込まれる工作 (工事のみ)	□コンクリート塊	トン			
	生	→ 12/10 /J千/千	<i>→ ∓ */*)</i>	□アスファルト・コンクリート塊		□① □② □③ □④ □⑤ □⑥		
	込 量 			□建設発生木材	トン	□① □② □③ □④ □⑤ □⑥		
		②土工 ③基	遊 ④本体構造 ⑤本体	体付属品 ⑥その他				

<sup>□</sup>欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

### 委 任 状

私は都合により下記の者を代理者と定め、下記の建築物等の工事について、 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条に基づく届出の手 続きに関する一切の権限を委任します。

記

1.	工事の名称	
2.	工事の場所	
3.	代理者の住所	
	(電話番号)	
	代理者の氏名	印
委	任者	
	<u>住</u> 所	
	- / y // / / / / / / / / / / / / / / / /	钔

# 工 程 表

作業内容	月日						

## 説 明 書

年 月 日

(発注者)	様
	氏名 (法人にあっては商号又は名称及び代表者の氏名)
	(郵便番号 — ) 電話番号 住所
	の再資源化等に関する法律第12条第1項の規定により、 係る事項について下記のとおり説明します。
	記
1. 説明内容 添付資	資料のとおり
2. 添付資料 ①届出書(様式第一	-号に必要事項を記載したもの)
□別表1(建築物) □別表2(建築物)	いずれかに必要事項を記載したもの) に係る解体工事) に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)) 以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等))
③その他の別添資料 □案内図 □工程表	・(添付する場合)
[注] 本様式は発注者に対し	して説明することにあたり、書面で行う場合の標準様式を参考として示すものである。

(建築物に係る解体工事の場合)

### 1. 分別解体等の方法

コ   程		エ	程	作	業	内	容	分 別	解(	体 等	$\mathcal{O}$	方	法
	1 1	①建築設備・内装	材等	建築設 □有		等の取り外	L	□手作 □手作 併用の	業・機構			)	
	岂可	②屋根ふき材		□有				<ul><li>□手作</li><li>□手作</li><li>併用の</li></ul>	業・機構 場合の5			)	
容及て角	を バ	③外装材·上部構:	造部分	外装材 □有		部分の取り	裹し	□手作		戒作業の	の併用		
が ク フ 法	<b> </b>	④基礎・基礎ぐい			基礎ぐいの□無	取り壊し		□手作		戒作業の	の併用		
		⑤その他(	)	その他 □有	の取り壊し □無			□手作		戒作業の	の併用		
		出書の写しを添付す解体工事に要する。 (受注者の見積金	費用	もよい					<u>F</u> ,	](税〕	<u> </u>		
3	. ‡	再資源化等をする	ための施	記設の名	称及び所宿	生地			別紙	のとお	3 <b>9</b>		
4		特定建設資材廃棄。 受注者の見積金額	,	孫化等	をに要する	費用			円	(税)	<u>ā)</u>		

(建築物に係る新築工事等の場合)

### 1. 分別解体等の方法

工程	工	作	業	内	容	分別	解	体	等	$\mathcal{O}$	方	注
ごとの作業内容及び解体方法	①造成等		等の工事 □無			□手作 □手作		幾械作	業の	併用		
	②基礎・基礎ぐい		・基礎ぐいの □無	工事		□手作		幾械作	業の	)併用		
	③上部構造部分·外装		構造部分・外 □無	装の工事		□手作 □手作		幾械作	業の	併用		
	④屋根	屋根♂□有	□無			□手作		幾械作	業の	併用		
	⑤建築設備・内装等		设備・内装等の □無	の工事		□手作		幾械作	業の	<del></del> ・併用		
	⑥その他 ( )		也の工事 □無			□手作		幾械作	<b>業</b> の			
※届	出書の写しを添付すること	でもよい	`									
2.	解体工事に要する費用						な	:1				
3.	再資源化等をするための	施設のク	名称及び所在	Е地			別系	紙のる	とお	り		
	特定建設資材廃棄物の再 (受注者の見積金額)	資源化等	等に要する賽	費用				円 (ラ	锐込	<u>)</u>		

(建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)の場合)

### 1. 分別解体等の方法

工	工   程	作	業	内	容				) 方 注 ) み )
程	①仮設	仮設工事	F			□手作業			
~"		□有□□	無			□手作業	き・機械作	業の併	用
ح									
0	②土工	土工事				□手作業			
作		□有□□	<u></u> 無			□	き・機械化	ド葉の併)	用
業	③基礎	基礎工事	F			□手作業	₹		
内		□有□□	無			□手作業	き・機械作	業の併	用
容									
及	④本体構造	本体構造				□手作業			
び		│□有 □	<u></u>  無			<u> </u>   十作業 	き・機械作	業の併り	用
解	⑤本体付属品	本体付属   □有 □	弱品の工事 □無			│ □ 手作業   □ 毛作業	美 ・機械作	「業の供」	Ħ
体			J <del>/////</del>					<del>-</del> ₩•////	<b>⊥</b> 1
方	( 7- 0 lih ( )	7-014 O	、			口工作出	<del>/-</del>		
法	(⑥その他())	その他の   □有 □				│ □ 手作業 │ □ 手作業	ミ 纟・機械作	『業の併』	用
			_,,,,			_ , , , , ,	. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	), T	
<b>※</b> 届b	<u> </u> 出書の写しを添付することで	きょよい							
2. 1	解体工事に要する費用						円(利	锐込)	
	(受注者の見積金額)								
(注)	) 解体工事の場合のみ記載	<b>載する。</b>							
3	再資源化等をするための加	を とこれ 色設の名利	なび所在 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	地			別紙の	とおり	
4. !	特定建設資材廃棄物の再資	資源化等に	こ要する費	·用			円(	税込)	
(	受注者の見積金額)								

別 紙

(書ききれない場合は別紙に記載)

特定建設資材廃棄物 の種類	施	設	Ø	名	称	所	在	地

※受注者が選択した施設を記載(品目ごとに複数記入可)

# 告 知 書

年 月 日

(下請負人)	<del>1</del> *			
	様			
	氏名(法人にあ	っては商号又は	名称及び代表者の氏名)	
	_(郵便番号		)電話番号	
	住所			
建設工事に係る資材	の再次派ルダ	ア胆士ス州	- 建第19条第9項の	坦宁により
対象建設工事に係る負荷				兄足により、
		記		
1. 添付資料				
①届出書(様式第一	-号に必要事項	を記載した	こもの)	
②別表(別表1~3の	ハガカかに必	、更寓頂を割	日載したもの)	
□別表1(建築物				
			・増築・修繕・模様様 事又は新築工事等(±	
口別及3 (建架物)	<b>グプドップ む ップ (二 )</b>	ドの件件工	ザスは机 采工 ず 守(エ	·小工事等//
③その他の別添資料 □案内図	├(添付する場	合)		
□工程表				
「注】 本様式は下請負人にな	対して告知することに	なたり 書面で	行う場合の標準様式を参考とし	て示すものである

# 再資源化等報告書

年 月 日

(発注者)	様		
	氏名(法人にあっては商号又は名称及び代表)	者の氏名)	
		)電話番号	
建設工事に係る資材の 下記のとおり、特定建設資			
	記		
1. 工事の名称			
2. 工事の場所			
3. 再資源化等が完了した	た年月日	年 月 日	
4. 再資源化等をした施設 (書ききれない場合は別紙		I	
特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地	
5. 特定建設資材廃棄物	の再資源化等に要し		万円 方消費税を含む)
(参考資料を添付する場合の □再生資源利用実施書(↓ □再生資源利用促進実施	必要事項を記載した <sup>で</sup>	もの)	人上の工事の場合など

#### 建設リサイクル法に関する届出の手引き

平成14年(2002年) 7月 発 行

平成17年(2005年) 9月 部名称の変更

平成20年(2008年) 4月 部名称の変更

平成22年(2010年) 3月 様式の変更(平成22年4月1日改正)

平成24年(2012年)12月 様式の変更

平成28年(2016年) 4月 部名称の変更

令和 2 年(2020年) 2月 改元による年表示の変更

令和 4 年(2022年) 1月 記載例及び様式の変更

編集・発行 八尾市建築部審査指導課

Tel (072) 924-3878

〒581-0003 八尾市本町1丁目1-1

刊行物番号 R3-162

再生紙を使用しています。